



リスクマネジメント

メール誤送信防止ソリューション

- SHieldMailChecker -

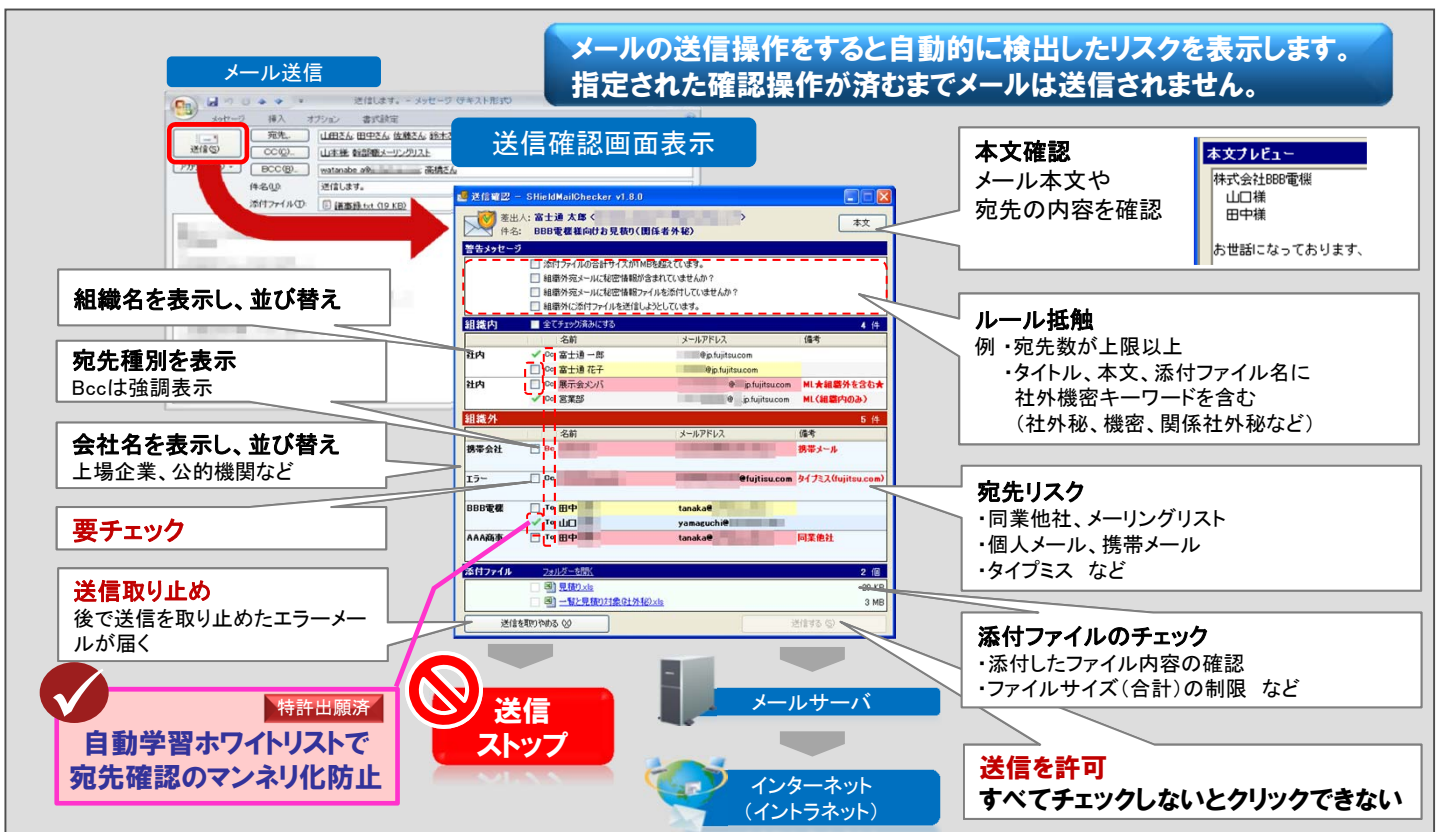


メール送信時に、送信先アドレスのミスや添付ファイルの誤りなど送信リスクの再確認を促すことで、メールの誤送信を未然に防止するソリューションです。「うっかりミス」による情報漏えいを防ぐことができます。

利用シーン:メールの利便性を損なわず、素早く、効果的に、「メール誤送信による情報漏えい」を防止。

お客様の課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ● 早急に誤送信対策を実施したい。 ● メール宛先や添付ファイルの確認をわかりやすくかつ確実に実施させたい。 ● 現場任せの対策をやめたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ クライアントへ導入するだけで、対策が完了します。 ✓ 送信確認画面にて、検出したリスクだけでなくメール本文や添付ファイルの内容も最終確認できます。 ✓ 共通ポリシーで、セキュリティレベルを統制できます。

ソリューションの概要イメージ



導入により対策が可能となるリスクマネジメント分野

- | | | | |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 認証・ID管理 | <input checked="" type="checkbox"/> Web・メールセキュリティ対策 | <input type="checkbox"/> 不正アクセス対策 | <input checked="" type="checkbox"/> 情報漏えい対策 |
| <input type="checkbox"/> 運用管理対策 | <input type="checkbox"/> セキュリティ監査 | <input type="checkbox"/> その他 | |

ソリューションの特長

●既存サーバ環境のまま、短期間で簡単導入

- ・SMTP プロトコルを利用する主要メールソフトに対応し、**クライアントへ導入するだけで適用完了** (マニュアルに従い、お客様自身でご導入いただけます。)
- ・コミュニケーションプラットフォームとして人気の高い **Microsoft Exchange Server** にも対応

●共通ポリシーにより、メール送信に関する組織内ルールを統一

- ・製品同梱のサンプルポリシーを元に、**組織共通ポリシー**を設定して配付可能
- ・メール送信時にポリシー違反／抵触を警告し、**セキュリティレベルを統制**

【ポリシーの定義例】

- 社外に送信する場合、宛先確認が必要
- 宛先が20件以上の場合、警告を表示
- 件名、本文、添付ファイル名に注意すべきキーワード(社外秘等)を含む場合、警告を表示
- 本文、添付ファイルを再確認しないと送信不可
- 宛先が200件以上の場合、送信をブロック

●慣れによる見落としを抑止 **自動学習ホワイトリスト**

特許出願済(注1)

- ・利用者ごとの送信行動を統計分析し、最近よく送る宛先を**ホワイトリストに自動登録**
- ・過剰な警告を抑止し、利用者の**慣れによるチェック効果の低下を防止**

注1: 株式会社富士通研究所と株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリによる共同出願

●豊富な導入実績

- ・富士通グループの標準ツールとして、グループ100社以上、約10万ユーザーが利用(2012年2月現在)。

ソリューション素材

■SHieldMailChecker(富士通SSL) メール誤送信を防止する、クライアント型のソフトウェアパッケージです

●動作環境

対応プロトコル	SMTP、MAPI(接続先: Microsoft Exchange Server 2003/2007/2010)
動作確認済みのメールサーバ	■SMTP: sendmail[8.13]、Postfix[2.3]、qmail[1.03] ■MAPI: Microsoft Exchange Server[2003][2007][2010]
クライアントOS	Windows XP SP3以降 (32bit)、Windows XP SP2以降 (64bit)、Windows Vista SP2以降 (32bit/64bit)、Windows 7 SP1以降 (32bit/64bit)
	必要ソフトウェア
クライアント確認済みメールソフト(括弧内は対応プロトコル)	・AL-Mail32[1.13a](SMTP) ・Becky! Internet Mail [2.58.00](SMTP) ・Microsoft Outlook [2003 SP3](SMTP) ・Microsoft Outlook [2007 SP2](SMTP、MAPI) ・Microsoft Outlook [2010 SP1](SMTP、MAPI) ・Outlook Express[6 SP2](SMTP) ・Windows メール[6](SMTP) ・Windows Live メール[2011](SMTP) ・秀丸メール[5.70](SMTP) ・Thunderbird[3.1.16](SMTP) ・Thunderbird[8.0](SMTP)

●価格

パック名	ライセンス価格(税別)	年間保守料(税別)	備考
基本ライセンスパック10	45,000円	12,000円	10ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック50	180,000円	36,000円	50ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック100	300,000円	45,000円	100ユーザーまでご利用になれます。
10追加ライセンスパック	45,000円	12,000円	10ユーザー分の追加ライセンスです。どの基本ライセンスパックをご購入の場合にも、ご利用になれます。
20追加ライセンスパック	60,000円	9,000円	20ユーザー分の追加ライセンスです。基本ライセンスパック50または100をご購入の場合に、ご利用になれます。
一社無制限ライセンスパック	20,000,000円	3,000,000円	1年目の年間保守契約が必須となります。

【価格例】1,000ユーザの場合 ライセンス: 3,000,000円 年間保守料: 450,000円

■SHieldMailChecker GatewayAnalyzer(富士通SSL) [オプション]

SHieldMailChecker のインストール状況や、送信されたメールがSHieldMailCheckerによりチェックされたかどうかをサーバ上で確認できるサービスです。メールによる保守サポートを含めた月額使用料でご利用いただけます。

●動作環境

サーバOS	Red Hat Enterprise Linux5.2 (for x86) 以降	メールサーバ	sendmail-8.13.8以降、sendmail-cf-8.13.8以降
-------	--	--------	--

●価格(月額 55,000円から)

*SHieldMailChecker GateWayAnalyzer のご利用には別途サーバをご用意いただく必要があります。

※SHieldMailCheckerは富士通SSLの登録商標です。
※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2012年2月現在のものです。

●SafetyValueとは、安心・安全・信頼・事業継続分野における富士通株式会社のブランドです。SHieldMailCheckerは、SafetyValueの一環としてご提供しております。PoweredSolutionは、富士通SSLのソリューション商品体系の名称です。

お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)

お問い合わせ総合窓口

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス

E-mail: ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

T E L : 044-739-1251

当社ホームページ <http://www.ssl.fujitsu.com>